

日本博2.0セミナーシリーズ 2023年度 第2回

外国人来場者の識別・推計のノウハウ

2023/9

一般社団法人 芸術と創造
Platform for Arts and Creativity

代表理事 綿江彰禪

1. 判別に係る基本的な考え方

2. 昨年度日本博採択事業の識別・推計方法

3. その他の方法

4. 各種手法の評価

1. 判別に係る基本的な考え方

2. 昨年度日本博採択事業の識別・推計方法

3. その他の方法

4. 各種手法の評価

判別に係る基本的な考え方（1／3）

➡そもそも事業における「外国人」を定義する必要。

【外国人判断の視点（単一の要素で判断する場合）】

- 国籍の把握 ➡外国籍を外国人とするか？
- 居住地の把握 ➡日本以外の居住者を「外国人」とみなすか？
- 使用言語の把握 ➡日本語以外の言語使用者を「外国人」とみなすか？

【政府のインバウンドの定義】

		国籍	
		日本籍	外国籍
居住地	日本		
	日本以外		インバウンド ※うち観光目的のもの

➡ インバウンドは「国籍」と「居住地」を基に定義される。可能であれば、国籍と居住地を把握することが理想。

判別に係る基本的な考え方 (2/3)

➡それぞれのターゲット国を設定できている事業であれば「より詳細な把握」が必要

【外国人の判断の視点】

- 国籍の把握 ➡ (単純) 日本人 or 外国人のみを把握するか？
(詳細) 外国人の国籍も把握するか？
- 居住地の把握 ➡ (単純) 日本在住 or 海外在住のみを把握するか？
(詳細) 居住国も把握するか？
- 使用言語の把握 ➡ (単純) 日本語 or 日本語以外のみを把握するか？
(詳細) 言語まで把握するか？

判別に係る基本的な考え方判別に係る基本的な考え方（3／3）

➡事業の目的・性質に従って何を把握するかを設定する。

【外国人の判断の視点】

- 国籍の把握
- 居住地の把握
- 使用言語の把握



【把握の方法】

- 実数の把握
- 来場者に占める割合の把握
(割合を元にした数の推計)

1. 判別に係る基本的な考え方

2. 昨年度日本博採択事業の識別・推計方法

3. その他の方法

4. 各種手法の評価

昨年度日本博採択事業の主な識別・推計方法

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
① 受付・監視スタッフ等による目視での判断	×						● or ●	
② 来場者・参加者名簿に基づく判断	×						● or ●	
③ 受付時に記名を依頼 ⇒ 名前を基に判断	×						●	
④ 受付時に国籍を聞き取り		●					● or ●	
⑤ 申込・予約時に国籍・居住地を把握（簡易アンケート）	● or ●		● or ●				▲ or ●	
⑥ 来場者アンケートを基に判断	● or ●		● or ●					●
⑦ 英語サイトからの申込数					●		▲	
⑧ 外国人向けプログラムの申込数					●		▲	
⑨ Webサイトの解析（言語別のアクセス数、IPアドレス等）			▲		▲ or ▲			▲
⑩ AIを元にした解析（映像、画像）	×	×					● or ●	

1. 判別に係る基本的な考え方

2. 昨年度日本博採択事業の識別・推計方法

3. その他の方法

4. 各種手法の評価

その他の有効な方法

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
① 受付・監視スタッフ等による目視での判断	×						● or ●	
② 来場者・参加者名簿に基づく判断	×						● or ●	
③ 受付時に記名を依頼 ⇒ 名前を基に判断	×						●	
④ 受付時に国籍を聞き取り		●					● or ●	
⑤ 申込・予約時に国籍・居住地を把握（簡易アンケート）	● or ●		● or ●				▲ or ●	
⑥ 来場者アンケートを基に判断	● or ●		● or ●					●
⑦ 英語サイトからの申込数					●		▲	
⑧ 外国人向けプログラムの申込数					●		▲	
⑨ Webサイトの解析（言語別のアクセス数、IPアドレス等）			▲		▲ or ▲			▲
⑩ AIを元にした解析（映像、画像）	×	×					● or ●	
⑪ パンフレット等の選択言語に基づく推計（配布・配架）					● or ●			●
⑫ オーディオガイド等の選択言語に基づく推計					● or ●			●
⑬ 申込・予約時の電話番号を基に判断				●			▲ or ●	

1. 判別に係る基本的な考え方

2. 昨年度日本博採択事業の識別・推計方法

3. その他の方法

4. 各種手法の評価

各種手法の評価（1／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
① 受付・監視スタッフ等による目視での判断	×						● or ●	
② 来場者・参加者名簿に基づく判断	×						● or ●	
③ 受付時に記名を依頼 ⇒ 名前を基に判断	×						●	

➡ ☺ 金銭的コストを掛けず（職員の手間のみ）に運用可能

☹ 職員の手間がかなりかかる

☹ 居住地はわからない

☹ 非常に主観的

☹ ①の場合、日本人と容姿が近いと判断できない（インバウンドのボリュームゾーンであるアジアを判断できない）

☹ 差別的要素を含む（倫理的問題）

➡ 日本博事業の定義としては避けたい手法。

各種手法の評価（2／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑩ AIを元にした解析（映像、画像）	×	×					● or ●	

➡ 😊 人的コストを掛けずに運用可能

☹ 基本的に専門の事業者へ委託をする必要があるため、それなりの金銭的コストがかかる

☹ 居住地はわからない

☹ 判別のアルゴリズムは公開されていない場合が多い。読み手からは主観的にうつる可能性が高い

☹ 差別的要素を含む（倫理的問題）※大手は本観点から撤退しているところも

➡ 日本博事業での活用可能性は高くはない。

各種手法の評価（3／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
④ 受付時に国籍を聞き取り		●					● or ●	

- ➡ 😊 客観性は十分
- ☹️ 職員の手間がかなりかかる（特に全数調査とする場合）
 - ☹️ （居住地を聞かない場合）居住地はわからない
 - ☹️ 来場者の心証を害する可能性がありリスクを孕む

各種手法の評価（4／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑤ 申込・予約時に国籍・居住地を把握（簡易アンケート）	●	or ●	●	or ●			▲	or ●
⑥ 来場者アンケートを基に判断	●	or ●	●	or ●				●

- ➡ 😊 客観性は十分
- 😊 国籍と居住地の両方を把握可能
- 😞 属性が偏る可能性（⑤の場合オンラインでの申込・予約者のみ、⑥の場合アンケートの回答者のみ等）
- 😞 設計・集計等に一定のノウハウが必要
- ➡ 多くの事業・観光地にて最も有効活用されている手法。
- 事業として日本語のアンケートを用意していれば、日本博共通アンケートとともに活用することで⑥の運用が可能。

各種手法の評価（5／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑦ 英語サイトからの申込数					●		▲	
⑧ 外国人向けプログラムの申込数					●		▲	

➡ 😊 金銭的コストを掛けず（職員の手間のみ）に運用可能

😊 客観性は十分

😞 国籍や居住地はわからない

😞 モレ（自動翻訳を使うなどした日本語サイトからの申込、公式サイト経由でない申込、現地での当日券購入者、通常のプログラムの参加者等）が一定程度発生

➡ 他の手法と併用して、活用したい手法。

各種手法の評価（6／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑨ Webサイトの解析（言語別のアクセス数、IPアドレス等）			▲		▲	or ▲		▲

➡ 😊 様々な詳細な情報が把握できる

😞 国籍はわからない

😞 来場者・参加者とは別概念（あくまでサイトの閲覧者）

😞 同一人物によるダブルカウントが含まれる

😞 それなりのノウハウが必要

※専門の事業者に委託をする場合一定程度の金銭的成本がかかる

➡ Webサイト分析は原則行うべきであるが、これだけで「外国人」を判断するのではなく他の手法と併用して、活用したい手法。

各種手法の評価（7／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑪ パンフレット等の選択言語に基づく推計（配布・配架）					●	or ●		●
⑫ オーディオガイド等の選択言語に基づく推計					●	or ●		●

- ➡ ☺ 金銭的・人的コストをかけずに運用が可能
- ☹ 国籍・居住地はわからない
- ☹ 属性の偏りが大きい（⑪の配架の場合は一部の手に取った人のみ、⑫の場合はオーディオガイドを使用した人のみ）
- ➡ 日本博では、あまり活用されていないが、多くの事業・観光地にて有効活用されている手法。

各種手法の評価（8／8）

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
⑬ 申込・予約時の電話番号を基に判断				●			▲	●

➡ 😊 居住地を正確に把握することが可能

😞 国籍はわからない

😞 モレが多い（公式サイト経由でない申込等）※実数での総数把握は難しい

➡ 海外の事業・観光地の予約では、電話番号を把握することが一般的。日本博事業での活用有効性が高い。

再掲）手法一覧

➡国籍と居住地の両方を把握するためには、何らかの方法でアンケート等を実施する必要がある。

	外国人の判断の視点						把握の方法	
	国籍		居住地		言語		実数	割合
	単純	詳細	単純	詳細	単純	詳細		
① 受付・監視スタッフ等による目視での判断	×						● or ●	
② 来場者・参加者名簿に基づく判断	×						● or ●	
③ 受付時に記名を依頼 ⇒名前を基に判断	×						●	
④ 受付時に国籍を聞き取り		●					● or ●	
⑤ 申込・予約時に国籍・居住地を把握（簡易アンケート）	● or ●		● or ●				▲ or ●	
⑥ 来場者アンケートを基に判断	● or ●		● or ●					●
⑦ 英語サイトからの申込数					●		▲	
⑧ 外国人向けプログラムの申込数					●		▲	
⑨ Webサイトの解析（言語別のアクセス数、IPアドレス等）			▲		▲ or ▲			▲
⑩ AIを元にした解析（映像、画像）	×	×					● or ●	
⑪ パンフレット等の選択言語に基づく推計（配布・配架）					● or ●			●
⑫ オーディオガイド等の選択言語に基づく推計					● or ●			●
⑬ 申込・予約時の電話番号を基に判断				●			▲ or ●	